**第２９回観察会　2005年８月30日(火)　　　　　　　　　 12:05～12:55　曇りのち雨**

**テーマ『植物園で染料をさがそうPart II』**

**☆ガイドレポート**

今回は「染料植物を探そうpart II」として案内させていただきました。前回（2004年11月）とは違い、今回は染料として使える季節の案内だったので、ちょっとした見本として「どくだみ」「西洋やまごぼう」「巨峰」等で染めた色見本なども用意させていただきました。そのおかげか、前回と違いいろいろな質問等もあり、ちょっとはガイドらしい感じでできたのでは？と思っています。

自然染料は特別なものではなく、実はとても身近な所にあり、よく目にする馴染みなものが多いことなどを少しでも感じてもらえたでしょうか？実を使うもの、樹皮を使うもの、全草が使えるもののほかに地衣類や落ち葉など、一見使えそうにないものでもやり方を変えれば染料として使えるといったことなどが少しでも伝わればと思いながらのガイドでしたが、みなさんお楽しみ頂けましたでしょうか？

途中土砂降りの雨に見舞われてのガイドでしたが、これから庭木の手入れをする際に、剪定した小枝や下草から、これはどんな色がとれるのだろうか？などと想像していただければ幸いです。

また機会がありましたら、今度はもう少し色見本なども取り揃えて季節ごとの自然の色や日本人の持っている色への感性なども取り入れてお話ししてみたいと思います。

ガイド：有元高太さん（染色家＠なぞやしき）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* ・染める時の色と染った時の色が全くもとの色からはわからない色が出るものがあったのですが楽しいものですね。毎回が面白く楽しいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 葉だけでなく、こけ、樹皮までが染料となることを教えていただき、今後林の中を歩いても参考になることを実感しました。　　　　　（近所のかた）
* もう少し話をききたかったです。雨のせい？　　　　　　　　　　（実名OKなのに記名のない近所のかた）
* 雨が降り残念でした。①木の乾木が白でも、その色が出るかと思いましたが、白はでないとのこと。②苔の染を研究したいと思います。（近所のかた）
* 植物は何でも染められそうで（白い樹や根はあかん）、身近なもので試してみようと思います。　　　　　　　　　　　　　　　　　（学内のかた　吉田伸子さん）
* 今日はあいにくの雨の観察会だったけれど、染料が身近にある事を知った。自分でも染めてみようと思う。　　　　　　　　　　　　（地球研　瀧野佳洋子さん）
* 春夏秋冬で、染めたときに出てくる色が若草→はでな色→シブい色と変わっていくというお話がおもしろかったです。　　　　　　　（京大フィールド研　坂本三和さん）
* 植物園にいろいろな染色の材料があるのにおどろきました。　　　（農学部職員のかた）
* 雨が降りそうだったが（実際に途中から降ってきました）、染色の深い世界を垣間見ることが出来て楽しかったです。　　　　　　　（近所のかた　瀧口昌朗さん）
* 媒染？によって変わる色の事を面白いと思います。　　　　　　　（近所のかた）